

第5学年

読むこと②

登場人物の相互関係や心情、場面についての優れた叙述について、自分の考えをまとめること

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

一方的なものの見方から抜け出せず、主題にせまる感想をもつことができない。

～初読の感想から～

作品の世界を味わうことができない。

大造じいさんが
ガンをねらっ
て、がんがか
わい
そうだなと思
いま
した。
ガンのきずな
が
書かれていま
います。

大造じいさんは
残雪をうたな
かつ
たし、かん病
を
したのでとも
心優
しい人なんだ
なあ
と思いま
した。

登場人物の相互関係が作品の大事な部分であることをとらえられていない。

実践の概要

単元名

すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう

『大造じいさんとガン』光村図書

目標 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを深めることができる。

- 内容**
- ・初めの感想と意味調べをする。
 - ・場面ごとに人物の言動や情景描写から心情を読み取っていく。
 - ・物語の魅力を伝え合う。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容（単元名）		つまずきの実態
第6学年	宮沢賢治が創り出す世界を味わおう	登場人物の相互関係や場面についての描写をとらえることができず、主題にせまる考えをもつことができない。
第5学年	すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう	一方的なものの見方から抜け出せず、主題にせまる感想をもつことができない。
第4学年	読んで考えたことを話し合おう	登場人物の姿・様子について、文中の一部から表面的にしかとらえられない。
第3学年	場所の移り変わりをとらえて感想をまとめよう	中心人物の様子を表す言葉から、中心人物の置かれている状況を想像して、気持ちを書くことができない。
第2学年	音読げきをしよう	叙述に込められている登場人物の気持ちの変化を想像することができない。
第1学年	音読発表会をしよう	場面の様子や登場人物の言動を表す言葉を見つけ、想像を広げることができない。

単元末の目指す姿

- ・細かな表現も見逃さないようにしよう意識しながら、人物の心情を読み取ることができ、豊かな描写にも気付くことができる。
- ・人物のものの見方にふれ、人物の相互関係によって心情の変化が起きていることを知ることができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

場面ごとに人物の心情がわかる描写を読み取らせる。

活動のねらい▶ 各自で心情がわかる描写を探した後、グループで持ち寄ることで、考えが確かなものとなり、深まっていく。

ここがポイント

- 人物の行動と会話文から心情を読み取る。
〈例〉『うん。』と、うなっていました。から、余裕がなくなった大造じいさんの悔しさが読み取れる。
- 情景描写から人物の心情を読み取る。
〈例〉「あかつきの光が…流れこんできました。」から、戦いへの意気込みが感じられる。

授業の様子



大造じいさんはこう思っているよ。そのことは、ここからわかるよ。

なるほどね。わたしは、ここにもそんな気持ちが出ていると思うな。

(期待される児童の姿)

- 相手に伝えるという必然性をもたせることで、一人学習の際に、根拠となる表現を探すことの意識が高まる。
- 同じ描写でも異なる心情が読み取れたり、異なる描写から似た心情が読み取れたりすることに気付き、各自の読みを深めることができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

場面ごとに読み取りを整理して、ワークシートにまとめさせる。

活動のねらい▶ 整理することで、全体交流の際に、場面ごとの読み取りを関係付けやすくなる。

ここがポイント

- 大造じいさんの残雪に対する思いを場面ごとに整理していく。
- 戦いを通して強まる大造じいさんの悔しさに共感し、自分の言葉で書き記していく。
- 残雪の行動を「仲間を助けた」「頭領らしい」と意味付けた大造じいさんの心情の変化も同時に読み取っていく。

(期待される児童の姿)

場面ごとに整理をすることで、場面と場面を比べることができ、人物の気持ちの強さや変化に気付くことができる。自分の言葉で心情を表すことができる。

ワークシート

「人物の行動」「会話文」「情景」など、残雪への思いがわかる部分を見つけ、自分の言葉で書き込ませていく。

